



いまばり

市議会だより



Contents

代表質問.....	2	議案等に対する賛否状況.....	9
代表質問・一般質問.....	3	議員研修会.....	9
一般質問・質疑・委員会審査...	6	中学生議会.....	10
委員会審査.....	7	決算特別委員会の設置.....	12
議案の審議結果.....	8	議会日誌・人事案件.....	12

中学生議会開催

令和7年度
一般会計補正予算
9,002万9千円 原案可決

今治市議会HP
はこちら



9月定例会のあらまし



今治市議会
(会議録の閲覧と検索)

閲覧期間
令和7年12月上旬以降



YouTube
(今治市議会)

閲覧期間
令和7年11月30日まで

今定例会は、2日から22日までの21日間の会期で開催されました。2日の本会議では、令和7年度の補正予算案2件、条例案4件、その他の議案が8件、報告案件が2件、合わせて16件が提案されました。4日は、代表質問と提案された議案への質疑を行い、5日、8日の2日間、9人の議員が市政への一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。また、8日には委員会審査のため、提案された議案を所管の委員会に付託しました。22日の本会議では、審査を行った各委員会の委員長報告の後、議案について採決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。次に、理事者から令和6年度一般会計特別会計歳入歳出決算の認定などの追加提案があり、決算特別委員会を設置し、決算認定議案7件を継続審査としました。続いて、理事者から人権擁護委員候補者の推薦についての追加提案があり、全会一致で同意しました。最後に市長の閉会挨拶を行い、今定例会を閉会しました。

9月定例会

代表質問



清風 会
(森本真博)

サイクルシティM ABAARの推進について

Q もっと今治市民の自転車利用・活用を拡大させるような取組に力を入れていただきたいと思っています。これから

の取組の方向性についてどのように考えられているかお伺いします。

A

市民の皆様にもっとと自転車に乗っていただく、自転車を楽しんでいただく事も大切であると考えております。

そこで、本年10月26日に、市民の皆様が気軽に参加できる新たなサイクリングイベントとして「いまぱりペダル」を開催することといたしました。このイベントは、市街地や海岸線、里山、山岳、湖畔など変化にとんだ景観を楽しみつつ、今治ならではの地元食材を味わい

ながら、中・長距離をマイペースで走破する「ファインライド」に加えて、女性やファミリー層をターゲットとして、人気の観光スポットやパン屋さんを巡りながらポイントを集める「サイクルロゲイニング」も実施することとしております。

Q Veloicity 2027Ehimeの開催に向けた取組についてお伺いします。

A 世界最大の自転車国際会議であり、2年後の2027年5月25日に日本では初開催となり、愛媛県で開催されることになりました。全力で開催準備に取り組み、来日される多くの方に「しまなみ海道サイクリング」を楽しんでいただくとともに、「今治市が進めている自転車施策の数々」を知っていただく絶好の機会になればと考えています。



蒼光 会
(壺内和彦)

丹下建築と今治市のまちづくりについて

Q 丹下健三「世界のTANGEE」特別展を今後どのように生かし顕彰していくのか。

A この丹下健三特別展を「顕彰から創生へ、次のフェーズへ」の幕開けと位置づけ、今後も文化遺産である丹下建築群、丹下イズムを現代に生かしながら、市民の理解と協力のもとで次世代の人たちに「世界のタンゲ」を伝承して行きたい、未来に向けた今治のまちづくりの指針にしたいと考えております。

Q 丹下建築を生かした、これからのまちづくりについて

A 丹下先生の思想の根底には、建築も都市も、常に「人を真ん中に置くべきだ」という信念がありました。都市軸はまちの未来を方向づけ、建築は市民に開かれ、広場は人と人をつなぐ、そうした哲学が今治のまちに刻まれています。例えば、都市軸である広小路は既存の街路樹を活かしつつ、市民の憩いの場となるよう緑豊かな街路として整備し、開かれた建築である本庁舎はリノベーションしてミュージアムに、現在駐車場となっている空間は、市民広場に再整備するなど、丹下建築を最大限活かした魅力的なプランが提示されております。「次の世代に誇れる今治のまち」、その実現に向けて、これからも市民の皆さんとの対話を大切にしながら、「100年に一度のまちづくり」に挑戦してまいります。



権 興 会
(森 京典)

ふるさと納税について

Q これまでの実績について

A ふるさと納税は「瀬戸内クロスポイント構想」を具現化する政策の柱の一つであり、その推進エンジンとして令和5年度に「株式会社今治あきない商社」を設立した。以後2年間で受入件数が約2.7倍、寄付受入額が約2.5倍に増加した。令和6年度の受入金額は29億4337万円で、四国の中では第3位、全国順位は第78位という高水準になっている。

Q ふるさと納税受入額のさらなる増加を目指した取組について

A ふるさと納税強化に向けて、市内の生産者、事業者、あきない商社がこれまで以上に連携を深めて地域の特色や新たな魅力を発信していく必要がある。日々返礼品の見直しを重ねて魅力向上に努めている。

返礼品の約60%を占める今治タオルについては、あきない商社の首都圏イベント等に中小業者が参加して、販促や営業など経営資源の補完を果たしている。

2番人気で約30%を占める「紅まどな」などの柑橘類については、生産者、JAおちいまばりと連携して生産量拡大や商品確保に取り組んでいる。

さらには、朝獲れ鮮魚をその日のうちに都内に届ける等、タオル、柑橘に続く新たな商品群の開発、開拓も進めている。

一般質問



高木 雅史
(創政会)

老朽危険空家に対する取組について

Q 今にも倒れそうなき家は何とかが多く聞かれる。空き家の中には生活道路に面しているものもあり、落下物で通行人がけがをする危険がある。所有者や近隣住民に寄り添った対策が必要だと思いが、現在どのような取組をしているのか。

A 令和3年度に本市が実施した調査によると、市内の空き家の総数は約1万1千棟で、空き家率は9.5%。そのうち、老朽化が著しく利用できないものは約1千棟となっている。近隣住民からの相談に対しては、所有者を特定し、適正管理や除却を行う旨の助言や指導を行っている。また、老朽化が進み、通行人や周辺環境に悪影響を及ぼす

空き家の除却については、その一部を補助する「老朽危険空家除却事業」を実施している。

今治版ネウボラについて

Q 採算性の低下により分娩（ぶんべん）の取り扱いを中止する医療機関が全国で増えている。市内でも民間の産婦人科病院が1院しかなく、子どもを産む環境が充実しているとは決して言えない。市は今治版ネウボラを推進していくうえで、現在の地域医療の状況についてどのような対策を講じる予定か。

A 令和元年度に3施設あった今治市内の産科医療機関は、令和5年度以降、県立今治病院とときら病院の2施設のみとなっている。また、出生数は令和元年度の870人から令和6年度には679人と減少している。過去に県立今治病院とときら病院の2施設で合計859人の分娩を対応した実績があり、出生数679人から見ると、現時点では市民の皆様への分娩に対応できる体制は整っていると考えている。



野本 貴士
(共生クラブ)

今治小松自動車道の早期全線開通について

Q 松山道と西瀬戸自動車道を結ぶ要衝道路であり、災害時の緊急輸送道路である今治小松自動車道について、本市が把握している全線開通に向けた現状及び今後の見通しについて。また、同道路のうち、今治道路の区間は通行料が無料である旨の確認について質問する。

A 今治小松自動車道のうち、今治ICから今治湯ノ浦ICまでの区間は、一般国道の自動車専用道路として平成13年度に国土交通省が事業化を進めているが、開通に至っていない。そこで、今治市議会や地元経済界で組織する「今治・小松自動車道建設促進期成同盟会」での活動を通じ毎年要望を重ねている。その結果もあり、今治湯ノ浦ICから（仮称）今治朝倉ICまでは令和8年度に開通予定である。今後も早期全線開通に向けて全力で取り組む。

また、今治道路の区間は、一般国道の自動車専用道路として、現段階では無料で通行できることを確認している。

次世代エネルギーである水素エネルギーに関する取組について

Q 環境省が公募した「令和7年度コスト競争力強化を図る再エネ等由来サプライチェーンモデル構築・FS事業」の採択事業について質問する。

A 近い将来の水素社会の実現を見据え、環境省の実現可能性調査事業に応募し採択され、多くの取組を踏まえ、事業成立の要件を明確化し、県内や他の地方都市に普及展開できるモデルの調査・検討を行い、未来社会の姿を示す事業とする。



上村 悦男
(清風会)

スマートフォンやインターネットの長時間使用について

Q

香川県や愛知県豊明市の条例のように、使用時間の目安等を示すことについて、どのように考えているのか。

A

児童生徒におけるスマートフォン等の長時間使用を防ぐためには、保護者の協力が不可欠である。

学校においては、各家庭の状況や児童生徒の発達段階に応じて、学校と家庭がルールづくりを行う仕組みを横展開すること、児童生徒の適正な使用を見守る環境を構築していきたいと考えている。

また、広く市民に対しても、現在、公民館等で実施している初心者スマ



菅 利之
(共生クラブ)

令和7年今治市林野火災について

Q

森林部分の地権者の把握及び意向調査の現状について

A

復旧事業開始に必要な把握については、現時点では813筆、地権者数は共有者を含め308名、未相続の土地については合わせて相続調査を実施し、今後関係者の増加が考えられる。

意向調査は、被災地の確認状況や、今後の復旧方法に関するご意向をうかがうもので、住所などの確認ができた方から発送を行っている。

・今治海事都市発展ビジョンについて

ほかの質問

得の迅速化を図り、事業を着実に進める。

今治市下水道施設について

Q

桜井河口ポンプ場をはじめとした、雨水下水道施設への対応について

A

近年局地的な豪雨や線状降水帯の発生により浸水被害が全国各地で報告され、本市においても過去10年間で147件の浸水被害が発生している。

老朽化施設については整備に相応の時間を要する。当面の対応として管理体制を強化、BEMA株式会社と協力し水位のAI予測を利用してポンプの起動を的確に行うことで、被害拡大防止が期待される。

ほかの質問

・未普及地域の汚水下水道の整備の現状と今後の対応



内山 葉子
(新政会)

「JICAアフリカ・ホームタウン」について

Q

市民の治安悪化に対する懸念について

A

今回の事業は、不流入を前提としたものではなく、「自由で平和かつ豊かな世界を希求し、パートナーと手を携えて、信頼で世界をつなぐ」というJICAの理念の下に実施されるものであり、治安に影響を及ぼす性質のものではないと認識しております。

Q

事前に市民に対して説明がなかったことについて

A

今回の認定に関しましては、主催するJICAより、当市

に対し、認定式当日まではプレスリリース等による事前の情報発信を控えるよう要請がございました。

Q

受け入れ体制について問う。多くの市民は、どのような法律や制度設計で、どのような外国人を計画的に受け入れるのかを明確に説明してほしいだけ。そこで市民に寄り添ったものと丁寧な説明が今治市民の皆様への不安を払拭するために必要かと思われる。

A

本事業は国際交流に主眼を置き、双方の発展を目指すもので、相手国から一方的に移民を受け入れるという体制を整えようとするものではないと断言します。

ほかの質問

・超高齢化社会における課題について
・本市におけるひとり親家庭支援策について



達川雄一郎
(共生クラブ)

観光行政について

Q

コロナが収束し昨年度の訪日外客数も過去最高を記録しているが、訪問率は東京都51.5%、大阪府39.6%と比較し愛媛県は全国40位0.4%と低い状況にある。観光政策の現状と課題、展望について問う。

A

本市の観光入込客数は、コロナ禍で減少した時期もあったが、おおむね270万人前後で推移している。せとうちみなとマルシェやクルーズ船の誘致など新しい取組も進めてきたが、課題として通過型観光の割合が高いことや、市内移動の不便さなどがある。引き続き、世界が憧れる観光都市へと羽ばたけるよう、未来へと続く

力強い歩みを進めていく。

修学旅行生誘致に向けた取組について

Q

今年度も今治市に訪れる修学旅行生への補助金が予算化されているが、誘致活動等について現状と取組、課題を問う。

A

令和6年度は44校、6666人の受入れ実績となつていく。サイクリングなど地域学習を組み合わせた体験が教育的価値の高い修学旅行先として評価をいただいていると考えている。今後も、地域資源を活用し、関係機関と協議しながら、全国の学校への認知を高め、修学旅行生の誘致を通じて持続可能な観光施策を着実に推進していく。



松田 澄子
(日本共産党)

外国人との共生について

Q

「排外主義」が参議院選挙において多く聞かれたが、差別デマやヘイトスピーチは許されなと思う。多数の外国人労働者のいる今治市の多文化共生社会に向けた取組について問う。

A

4400人を超える外国人の皆さんが、地場産業や介護やサービス業など幅広い分野で活躍されている。温かい交流が広がり、「おんまく」で地域の踊り連に外国人が溶け込み、踊りを楽しむ姿が見られた。大西の春祭りでも神輿を共に担いだり、「大西いこい夏祭り」で盆踊りを共に楽しみ、日本の文化を共有する姿が見られた。吉海地域でも、企

業と自治会が協力し、災害時には、外国人住民と地域住民が共に避難できる自主防災組織を立ち上げ、11月には防災運動会を開催予定である。企業対抗バスケットボール大会、フットサル大会、料理教室や日本語教室など交流を持ち、誰もが住み続けたい輝くまちを目指し、多文化共生社会の実現に取り組んでいく。

Q

「JICAアフリカ・ホームタウン」について市民の理解を得るためにもう一度説明を伺う。

A

一部海外メディアの誤報道があり拡散され、市民の皆様にも多くの心配をおかけしました。「移民促進でなく国際交流です。」人々が明るい未来を信じ多様な可能性を追求できる、自由で平和かつ豊かな世界を希求し、パートナーと手を携えて信頼で世界をつなぐ、JICAの理念の下に実施されるものだ。

今後の施設整備について

Q

今治市中心市街地「100年に一度のまちづくり計画」として、短期間に複数の大型施設を建設し街並みを変える事は多額の費用を伴うが、将来の財政負担や市民の納得は充分であるか。独自に集めた235名分のアンケート分析によると、計画の周知については9割弱の方が充分に知らず、施設の必要性の問いでは、約7割の方がいいと答えた。子育て世代では、子育て費用軽減などソフト面の方に税金を使つて欲しいという回答が多く、市の方向性とのズレがあった。

A

現状維持を続ける事は衰退であり、中心地の賑わい再生は必要である。一般財源の投入を抑え、維持管理費もDBO方式を採用したり、工夫している所である。ソフト事業にか



松浦 有彩
(新公会)

「JICAアフリカ・ホームタウン」について

Q

今治市がモザンビーク共和国のホームタウンに認定された件については、市民に事前の説明もなく、情報不足により不安や疑問の声が多く上がっている。国の人材育成制度も変わるが、定住者が増える事はないのか。具体的な交流内容、規模、時期など想定はどの程度あるのか。

A

現在相手国、関係機関と国際交流内容を検討中である。日本の自治体とアフリカ諸国との国際交流を推進し、双方の発展に寄与することを目的としており移民促進ではない。これまで培ってきた多文化共生の取組や、関係機関との連携を活かし、円滑かつ安全に実施できるよう万全を期すつもりである。

かる費用等についても所要額を年度ごとに織り込んでおり将来的に財政の健全性が十分に担保できるとの見通しを立てている。



谷口 芳史
(公明党)

子供たちの水難事故 防止対策について

Q 子供たちを水難事故から守るために着衣のままで水に落ちた時の対応の仕方、おぼれたりした時の対応を実施訓練で学んだりライフジャケットの着用方法や救助の待ち方など事故にあった時のための講習会を行っているところもある。本市では子供たちへどのように講習をしているのか。ライフジャケットは高いものではなくても持っている家庭は少なく購入も何回も使うものではないので躊躇する。学校や自治体である程度購入してストックしておいて講習などで使用し無償や低価格で貸し出ししてはどうか。

A

本市では警察署、消防本部、PTA連合会等の協力を得て夏季における子供の水の事故を未然に防止し尊い命を守るため毎年「こどもを水の事故から守る運動」を行っている。小中学校では着衣状態で落水した場合の対応を実体験で学ぶとともに服を着たまま泳ぐ技術を身に付けるために「命を守る着衣泳講習会」を毎年実施している。ライフジャケットを着用し浮く体験をすることで水への恐怖心を和らげてくれることを実感している。本市としては授業や講習会等で積極的にライフジャケットを活用するとともに保護者向けに啓発活動を行い有用性をしっかりと認識していただき学校や家庭、地域全体で水の事故から守る取組を進めていく。

ほかの質問

- ・ハンセン病人権問題について
- ・高齢者運転免許返納への支援について

質疑

9月4日の本会議において、理事者から提案された議案に対する質疑が次の事項について行われました。

発言者



上村 悦男
(清風会)

○議案第74号「令和7年度今治市一般会計補正予算（第4号）」について

- 1 歳出10款1項2目語学指導外国青年招致費及び第2表債務負担行為補正のうち国際交流推進業務委託について
- (1) A-LT配置数の妥当性について
- (2) 教育課程特例校制度の活用について

(3) 債務負担行為予算の内訳と今後の事業展開について

(4) 成果指標と検証体制について

○議案第78号「今治市下水道条例等の一部を改正する条例制定について」及び議案第79号「今治市給水条例の一部を改正する条例制定について」

1 条例改正案の背景について



委員会審査

総務委員会

今治市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について

仕事と育児との両立支援制度等を利用しやすい勤務環境の整備を図るため、所要の改正をするもの。

今治市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、職員の部分休業に関し必要な事項を定めるため、所要の改正をするもの。

防災行政無線システム更新工事請負契約の締結について

防災行政無線システム更新のため、請負契約を締結するもの。

財産の取得について（小型動力ポンプ）

菊間方面隊、伯方方面隊及び大三島方面隊に配備の小型動力ポンプの更新をするもの。

建設水道委員会

今治市下水道条例等の一部を改正する条例制定について

災害その他非常の場合における排水設備等の工事の施行について、所要の改正をするもの。

今治市給水条例の一部を改正する条例制定について

災害その他非常の場合における給水装置工事の施行について、所要の改正をするもの。

予算特別委員会

復旧・復興の森づくり事業

560万円

令和7年今治市林野火災により被災した地域の復旧・復興に向けた取組みとして、植樹イベントの開催や記録用の映像作成に取り組むもの。

令和7年今治市林野火災 検証対応事業

(1) 防災士避難所運営 力強化事業

50万円

林野火災で課題となった「避難所スペース」、「福祉避難」、「ペット避難」等を検証するため、防災士が主体性を持つて取り組む訓練を実施し、学びや共感による防災士のスキルアップを図るもの。

(2) 災害時情報共有の ための機器整備

125万円

災害現場の状況を消防本部と災害対策本部間で円滑に共有するための情報伝達機器を導入するもの。

子育て応援自転車レンタル 拡大事業

94万円

子育て支援及び自転車の活用推進を図るため、現在実施している幼児2人同乗用自転車の貸出台数を増やすもの。

通学費助成事業

75万円

自宅から学校までの距離など、通学困難事情を抱える市内高校生の負担

を軽減するため、電動アシスト自転車の購入費用の一部を助成するもの。

世界都市・今治こどもグ ローバルステップ事業

394万円

英語を公用語とする海外の都市と国際交流協定を締結し、産業や教育等の分野における地方都市間の国際交流を推進すること、瀬戸内の世界都市・今治の次代を担う子どもたちのグローバルな感覚をより一層育むとともに、ALTを活用した英語教育の充実を図るもの。

外国人介護人材受入施設 等環境整備事業

80万円

本市における介護人材不足の解消に向け、外国人介護人材の受入環境整備等に取り組み介護事業所を支援するもの。

バスロケーションシステ ム導入事業費補助金

350万円

市内のバス事業者が運行状況のリアルタイム配信機能等を有したシステムを導入するために要する経費を助成し、利用者

の利便性向上を図るもの。

水田農業競争力強化支援 事業費補助金

577万9千円

市内で生産される米の競争力強化や麦・大豆等の生産性向上、これらの地域生産体制強化のための取組を支援すること、市内水田農業の生産力強化を図るもの。

野菜・花き等産地供給力 強化支援事業費補助金

143万4千円

県の野菜・花き振興計画において重点振興品目に位置付けられる「さといも」と「いちご」の本市における生産基盤強化を図ることを目的として、省力化機械の導入を支援するもの。

市における生産基盤強化を図ることを目的として、省力化機械の導入を支援するもの。

儲かるモデル産地育成シ ステム確立実証事業費補 助金

57万5千円

先進技術の導入効果を実証し、産地に広く普及させる取組を支援すること、市内農業者の技術を高位平準化し、儲かるモデル産地の確立を図るもの。

観賞用枝物類産地支援事 業費補助金

13万2千円

枝物類の栽培に必要な苗木と安定生産を図るための雑草対策用の被覆資材等の導入を支援し、出荷量増加による農業収益の向上を図るもの。

畜産基盤維持強化支援事 業費補助金

177万9千円

畜産農家をはじめとする地域の関係者が連携する畜産クラスターの仕組み等を活用し、畜産施設の改修を支援することにより、畜産生産基盤の維持強化と生産性向上を図るもの。

民有林造林事業費補助金

469万9千円

市内の民有林において造林事業を行うものを支援すること、森林の有する多面的な機能の維持及び増進並びに森林環境の保全を図るもの。

公民館整備費

800万円

伯方町木浦に整備する公民館等（令和8年4月供用開始予定）の駐車場を拡張するため、民間の

寄附金等を活用して当該敷地に隣接する未利用国有地を購入するもの。

伯方島公共ライドシェア 実証事業

400万円

四国初の試みとして、公共ライドシェア（交通空白地有償運送）に貨物配送を加えた「貨客混載」による交通サービスの実証事業を民間事業者と連携して伯方島で行い、当該地域の実情に合った最適な公共交通の形を検討するもの。

脱炭素先行地域推進事業

(1) 脱炭素先行地域づく り事業費補助金

5810万円

しまなみ海道ブルーラインメインルート沿線上の家庭、事業所及び今治タオル産業群に対して、再エネ等設備導入に必要な経費を支援するもの。

(2) 脱炭素化等資金利 子補給金

3万8千円

脱炭素先行地域内の事業所（第三次産業に限る）又は今治タオル産業群の事業所が愛媛県の実施する脱炭素化等資金融資を

活用する場合に金融機関に支払う利子相当分を支援するもの。

(3) ゼロカーボンシテイ 事業費補助金

6200万円

物価高騰等により、家計の負担が増大し続けている中、太陽光発電等の導入を臨時的に支援することで、電気代を削減し、家庭におけるエネルギー費用負担の軽減を図るもの。

しまなみの大学生等通学 費助成事業

60万円

島しょ部地域に居住し、市内の高等教育機関に通う学生を対象に、その通学に要する経費の一部を助成するもの。

工業用水道事業会計資本 的支出（投資）

4億円

安定的な経営を行うため、資金運用を行うもの。



令和7年第4回今治市議会定例会 議案の審議結果

事件番号	件 名	結 果
		9月22日議決
議案 74	令和7年度 今治市一般会計補正予算（第4号）	原案可決（全会一致）
議案 75	令和7年度 今治市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案 76	今治市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 77	今治市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 78	今治市下水道条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 79	今治市給水条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 80	防災行政無線システム更新工事請負契約の締結について	原案可決（全会一致）
議案 81	財産の取得について（小型動力ポンプ）	原案可決（全会一致）
報告 8	専決処分について ・ 損害賠償額の決定及び和解について ・ 損害賠償額の決定及び和解について ・ 損害賠償額の決定及び和解について ・ 損害賠償額の決定及び和解について ・ 損害賠償額の決定及び和解について	受 理
報告 9	公営企業資金不足比率について	受 理
発議 5	特別委員会の設置について	原案可決（全会一致）
	決算特別委員会委員の選任	選 任
議案 82	令和6年度 今治市水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 83	令和6年度 今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継 続 審 査
議案 84	令和6年度 今治市簡易水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 85	令和6年度 今治市工業用水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 86	令和6年度 今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継 続 審 査
議案 87	令和6年度 今治市下水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 88	令和6年度 今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
報告 10	健全化判断比率等について	受 理
議案 89	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意（全会一致）
	議員の派遣について	原案可決（全会一致）

今議会の案件については全て全会一致となったため個別の表は掲載していません。



研修会の様子

令和7年8月21日、議員協議会室において議員研修会を開催しました。株式会社廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏から、「議会におけるハラスメント」の演題について講義していただきました。議会内で起こり得るハラスメントについて具体例を交えながらわかりやすく解説いただきました。

議員研修会

市議会を傍聴してみませんか

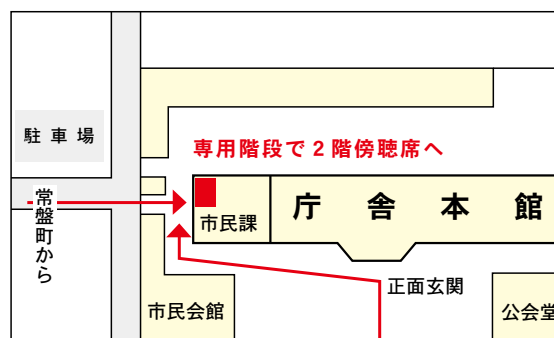
— 市政と議員の活動を知るよい機会です —

本会議の傍聴

本会議の当日、市役所本館市民課裏入口から2階へお上がりください。受付で住所・氏名などをご記入の上、傍聴席にお入りください。定員は80人です。

委員会の傍聴

委員会の開会**10分前**までに市役所本館3階の議会事務局で受付をし、委員会の許可を得て傍聴できます。傍聴の定員は、1委員会5人となっています。傍聴希望者が定員を超える場合は、抽選になります。



市議会傍聴席案内図



中学生議会を開催！

令和7年8月1日、今治市議会は「今治市中学生議会」を開催しました。これは、市の将来を担う中学生に市議会の仕組みや働きを体験してもらい、地方自治の役割や重要性を理解してもらうことを目的としています。また、この取組を通じて、若い世代の政治参加への意識を高めるとともに、中学生の視点からの意見を今後の市政運営に活かすことも目指しています。今年は8校から24名の中学生議員が参加し、議長や質問者として、中学生らしい元気いっぱいの姿で理事者に対して質問しました。中学生議会の会議録は、今治市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

SDGsへの市の取組について



移住者増加の活動について



島しょ部の情報発信について



快適なサイクルシティの実現について





防災マップの 配付について



性的少数者へ の理解促進活 動について



学校給食の質 向上について



お年寄りが楽 しむ場所につ いて





議会日誌



令和7年5月

29日	越智議長愛媛県離島振興協議会定時総会出席のため松山市へ出張	18日	越智議長今治小松自動車道建設促進に関する要望活動のため松山市へ出張	17日	大阪府茨木市議会議員視察
30日	教育厚生委員協議会	25日	北海道札幌市議会議員視察	28日	越智議長、丹下副議長東予地区市議会議長会定期総会出席のため四国中央市へ出張
6月		24日	建設水道委員会	7日	青森県弘前市議会議員視察
10日	議会運営委員会	28日	越智議長、丹下副議長東予地区市議会議長会定期総会出席のため四国中央市へ出張	14日	丹下副議長尾島ねぶたまつり出席のため群馬県太田市へ15日まで出張
12日	新議員議会活動研修会	29日	議会運営委員会	15日	越智議長愛媛県戦没者追悼式出席のため松山市へ出張
30日	越智議長愛媛県市町振興協会定時評議員会出席のため松山市へ出張	1日	今治市中学生議会	21日	人口問題対策特別委員会
2日	広島県尾道市議会議長、副議長就任挨拶のため来局	4日	丹下副議長、菅(利)、野本、達川、山岡、森(京)、平田、寺井議員ながのこども館「ながノビー」について長野県長野市へ、eスポーツ関連事業について富	22日	議員研修会
4日	議会活性化特別委員会	25日	群馬県太田市議会議員視察	22日	東京都大田区議会議員視察
8日	東京都多摩市議会議員視察				
9日	群馬県安中市議会議員視察				

決算特別委員会の設置

9月定例会に提出された令和6年度の水道事業、簡易水道事業、工業用水道事業、下水道事業及び一般会計・特別各会計の決算に関する議案を審査するため、9月22日の本会議において決算特別委員会が設置され、13人の委員が選任されました。

委員長	山岡 健一
副委員長	羽藤 謙司
委員	村上奈津子
委員	丹下 大輔
委員	森本 真博
委員	松田 澄子
委員	達川雄一郎
委員	谷口 芳史
委員	藤原 秀博
委員	矢野 雄嗣
委員	近藤 博
委員	平田 秀夫
委員	加藤 明

人事案件 (敬称略)

9月22日の定例会において、次の方を推薦することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

- ・大谷 清子 (再任)
- ・越智ゆかり (再任)
- ・檜垣 孝之 (再任)

市議会に対するご意見・ご要望をE-mailまたはFAXでお寄せください。お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

E-mail : gikai@imabari-city.jp

議会活性化特別委員会

委員長	藤原 秀博
副委員長	壺内 和彦
委員	菅 利之
委員	高木 雅史
委員	永井 隆文
委員	松田 澄子
委員	羽藤 謙司
委員	山岡 健一
委員	矢野 雄嗣

「市議会だより」のアプリ配信



マチイロ

マチイロ

検索

無料アプリ「マチイロ」を利用してスマートフォンなどで閲覧できるようになりました。※アプリは無料で利用できますが、所定の通信料がかかります。

